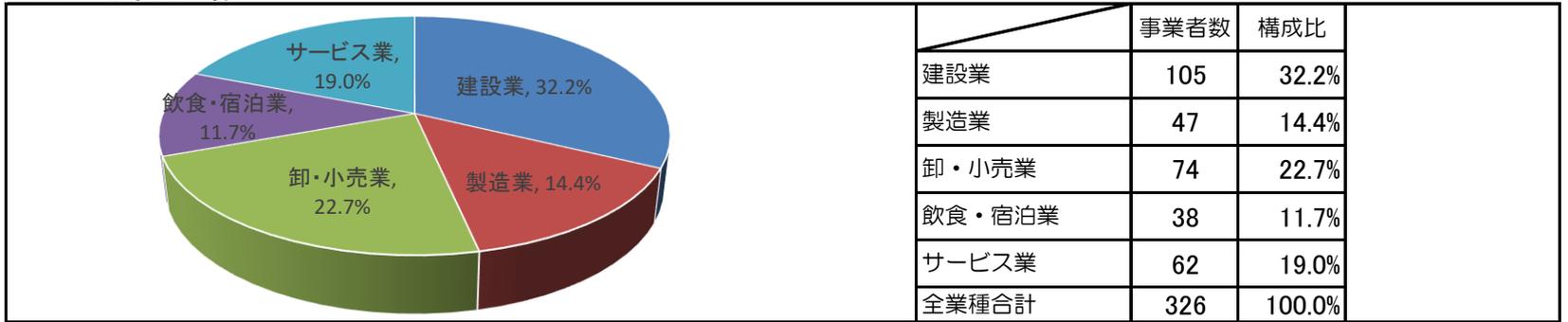


十日町市地域 企業景況調査 第2四半期報告書 (R6.7.1~R6.9.30) 川西地区

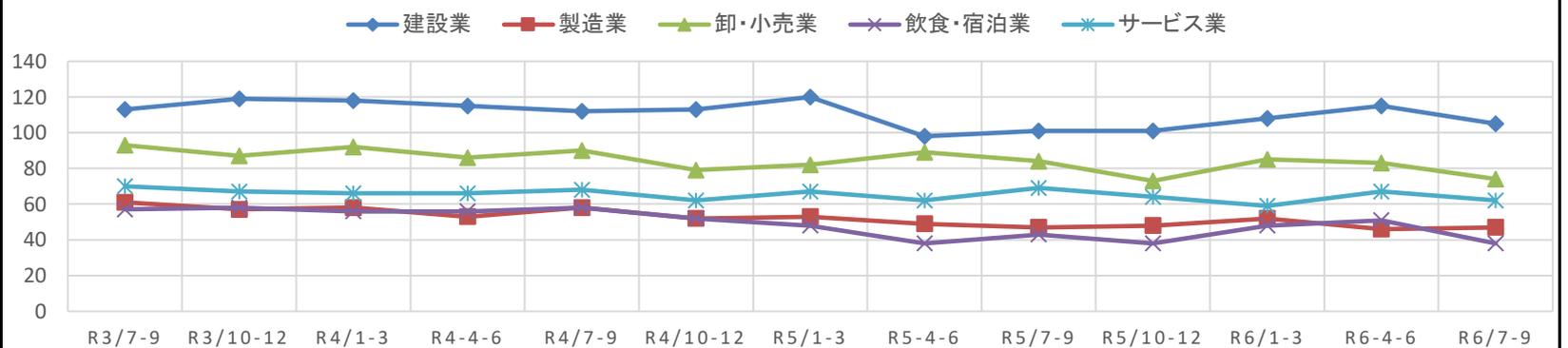
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



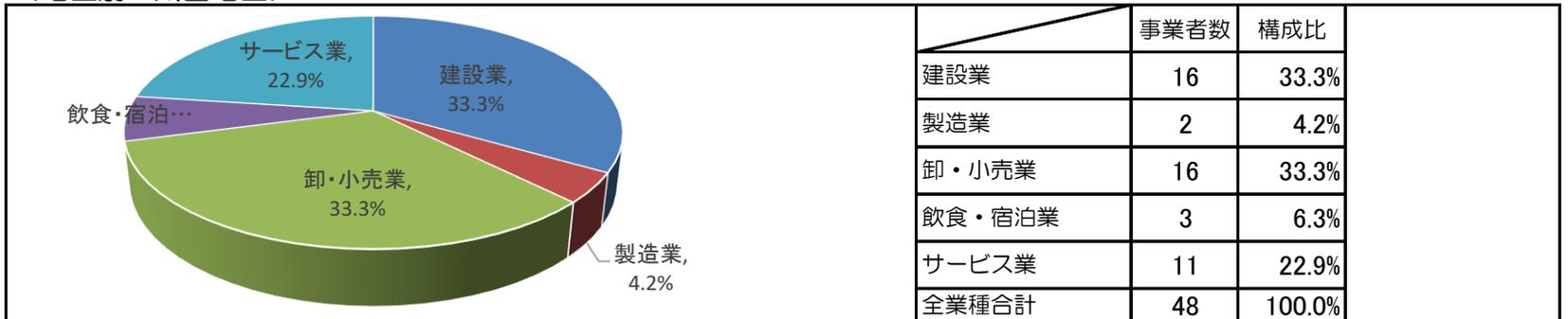
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



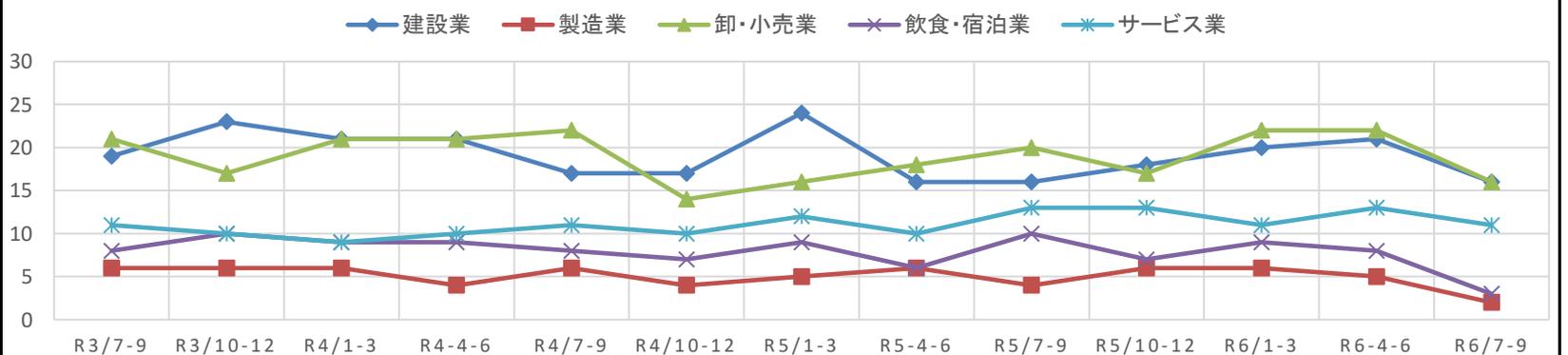
<コメント>

今回の調査は、十日町市内326事業所から回答を得られ、前回調査よりも36事業者減少している。飲食・宿泊業における減少が目立つ形となった。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

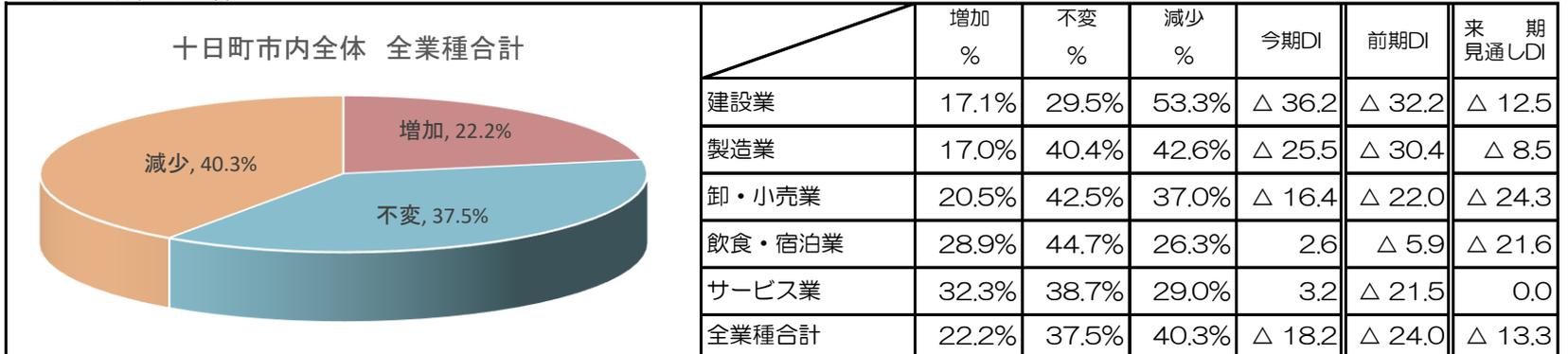
今回の調査は、川西地区48事業所から回答を得られ、前回調査よりも21事業者減少している。全業種で回答数・回答割合に変動があり、今回調査では建設業と卸・小売業の回答割合が最も高くなっている。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

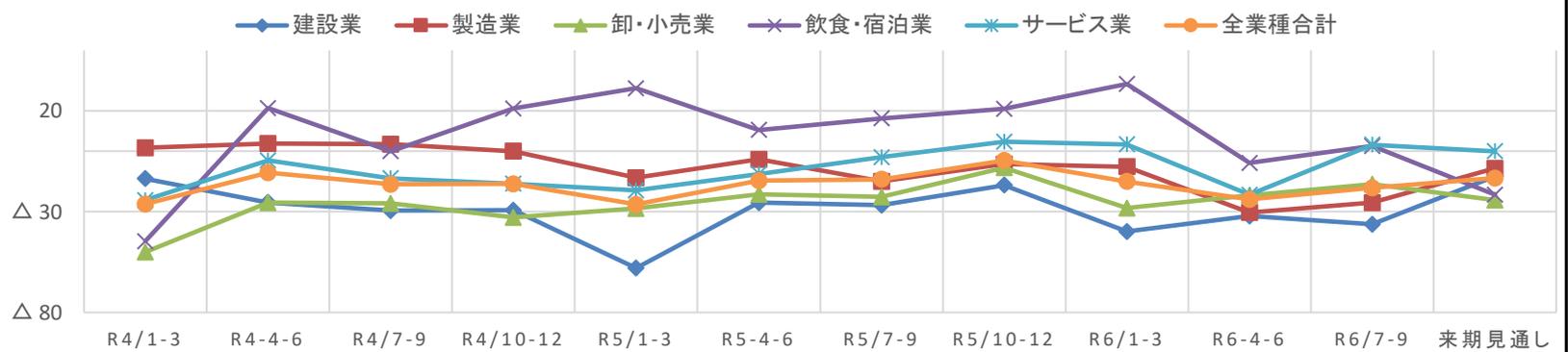
1. 売上について

・7月～9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



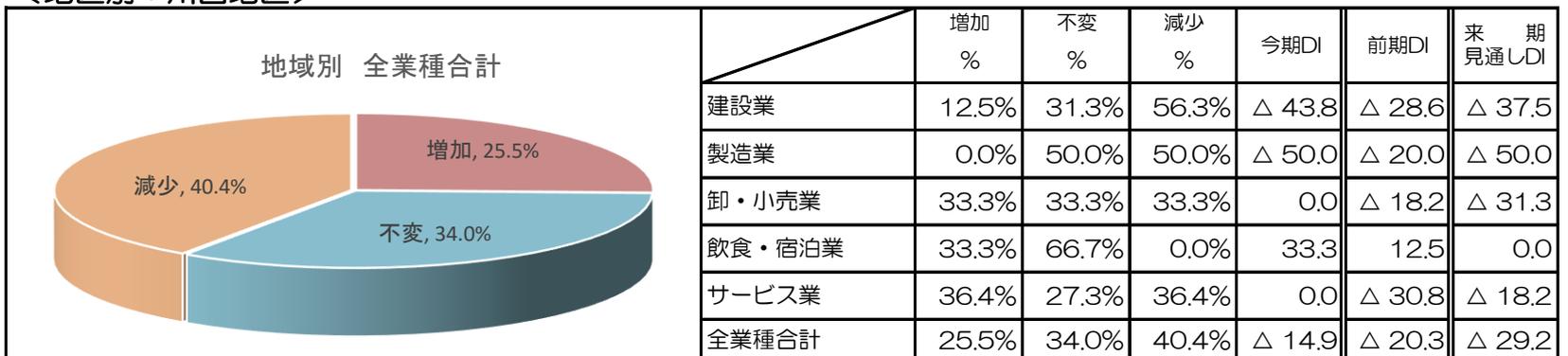
業種別売上の推移（市内全体）



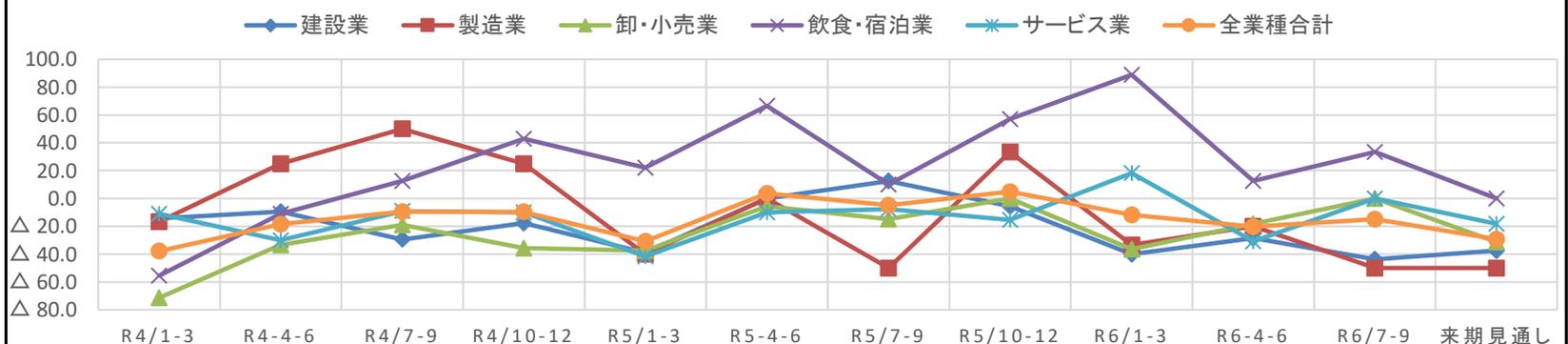
<コメント>

十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△18.2ポイントで、前回調査時よりも5.8ポイント増加となっている。業種別に見ると、建設業以外の業種でDI値が上昇した。来期見通しでは、卸・小売業と飲食・宿泊業ではDI値が減少となるが、それ以外の業種ではDI値増加の見通しとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移（地区別）



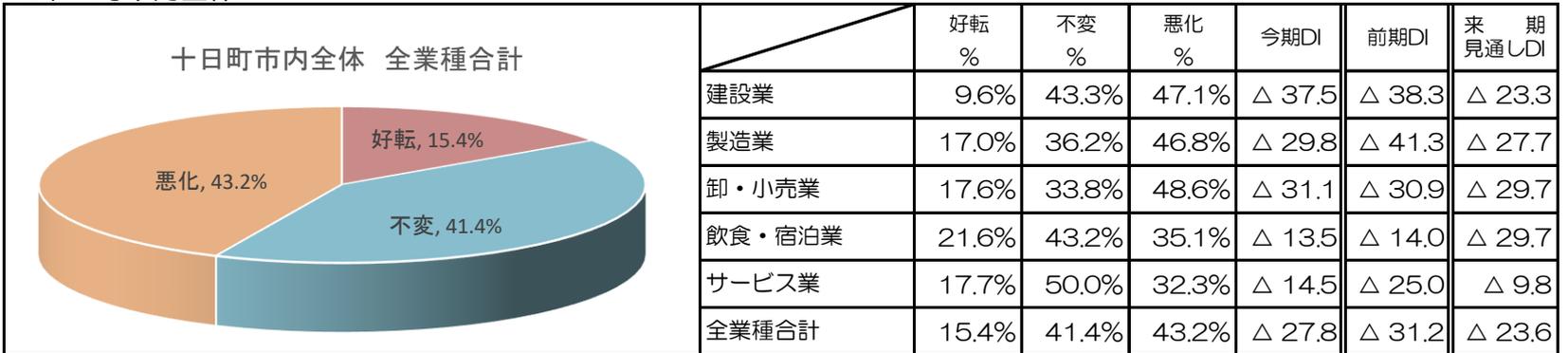
<コメント>

川西地区全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△14.9ポイントで、前回調査時よりも5.4ポイント増加となっている。業種別に見ると、建設業、製造業でDI値が減少したがそれ以外の業種ではDI値が増加している。来期見通しでは、全業種DI値で14.3ポイントの減少となり、業種別に見ると建設業ではDI値増加の見通しとなっている。

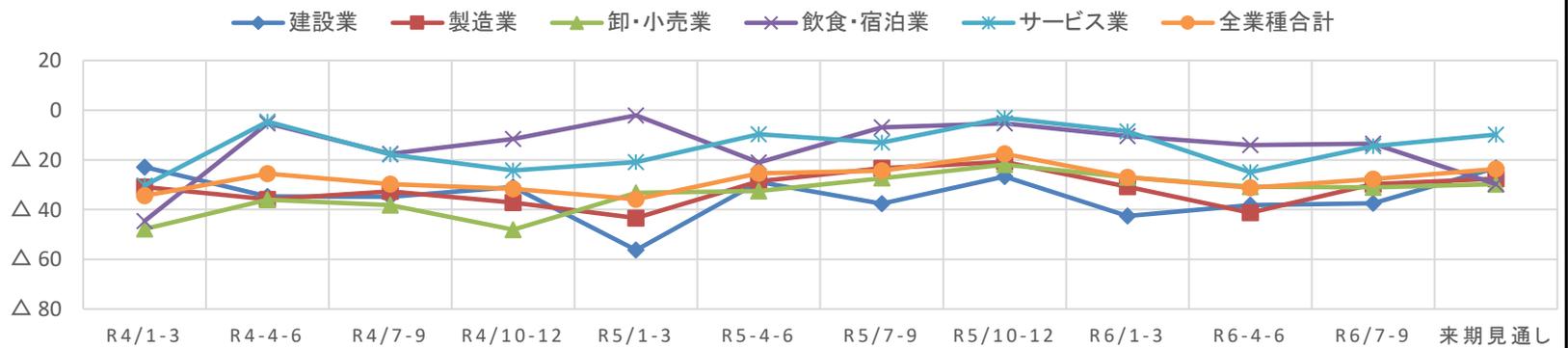
## 2. 採算について

- ・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>



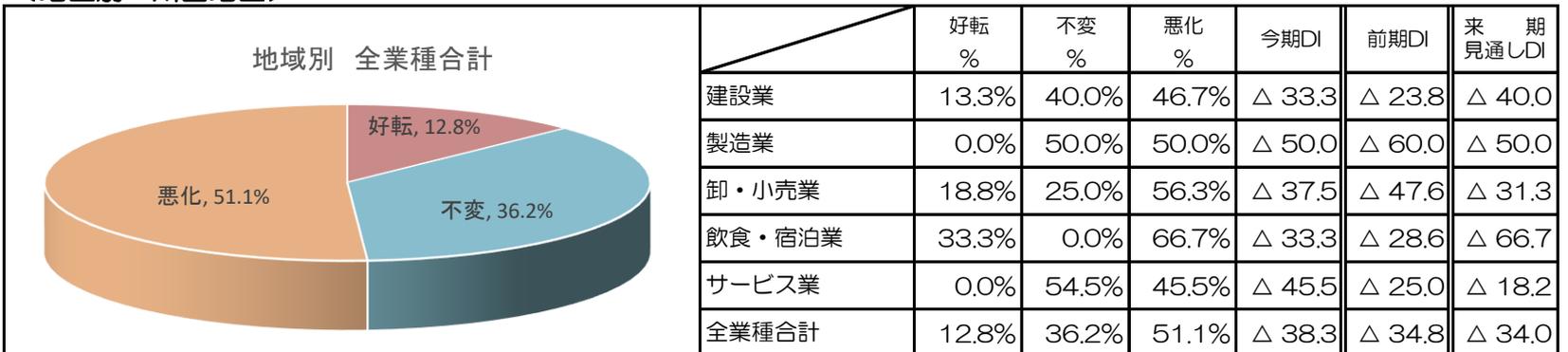
### 業種別採算の推移(市内全体)



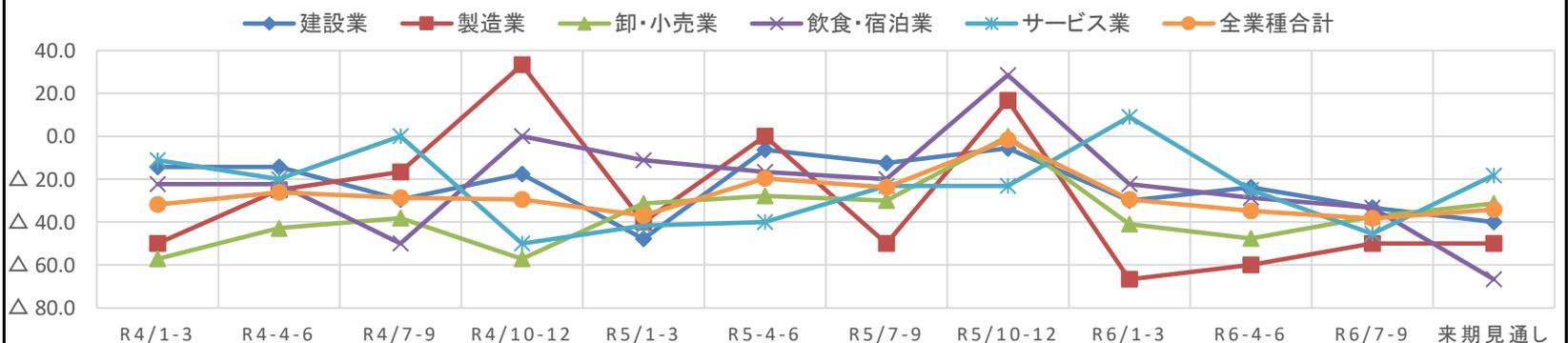
### <コメント>

十日町市内全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△27.8ポイントで、前回調査より3.4ポイント好転している。特に、建設業とサービス業での好転が大きかった。来期見通しでは、飲食・宿泊業で大幅な悪化予測となっているが、それ以外の業種では好転予測である。

### <地区別：川西地区>



### 業種別採算の推移(地区別)



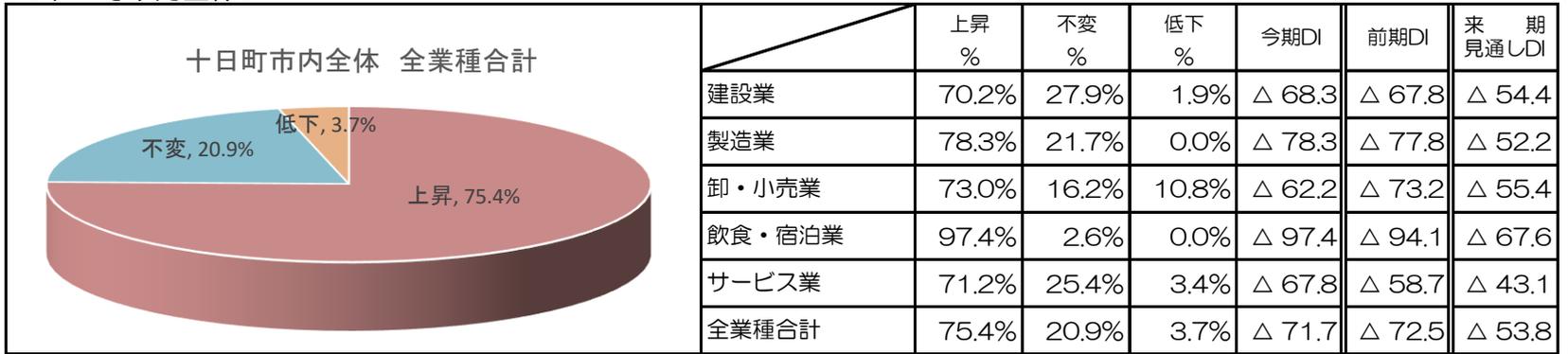
### <コメント>

川西地区全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△38.3ポイントで、前回調査より3.5ポイント悪化している。製造業、卸・小売業で好転したが、その他の業種ではDI値が悪化した。来期見通しでは、全業種DI値で4.3ポイント好転する見通しである。業種別に見ると、飲食・宿泊業で大幅な悪化予測となっている。

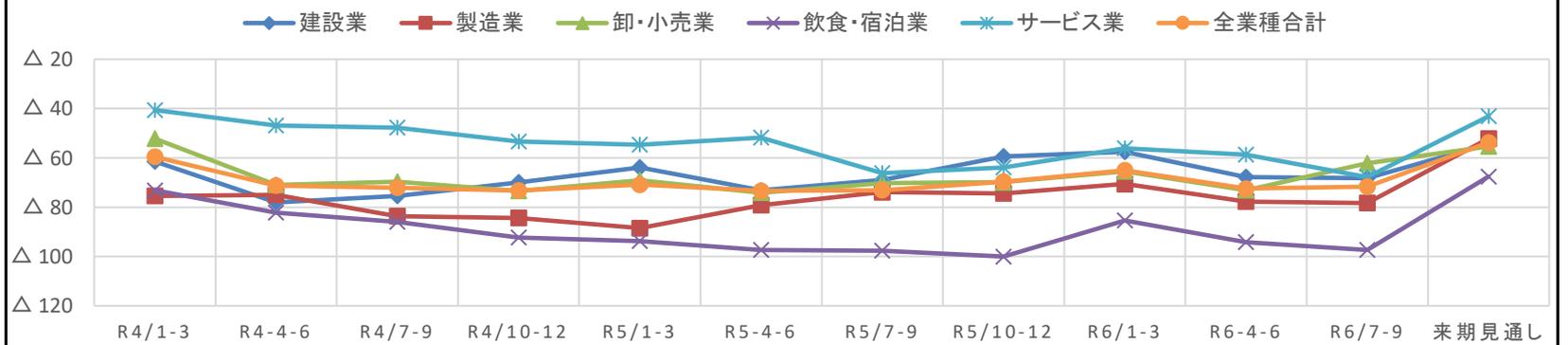
### 3. 仕入単価について

・7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <十日町市内全体>



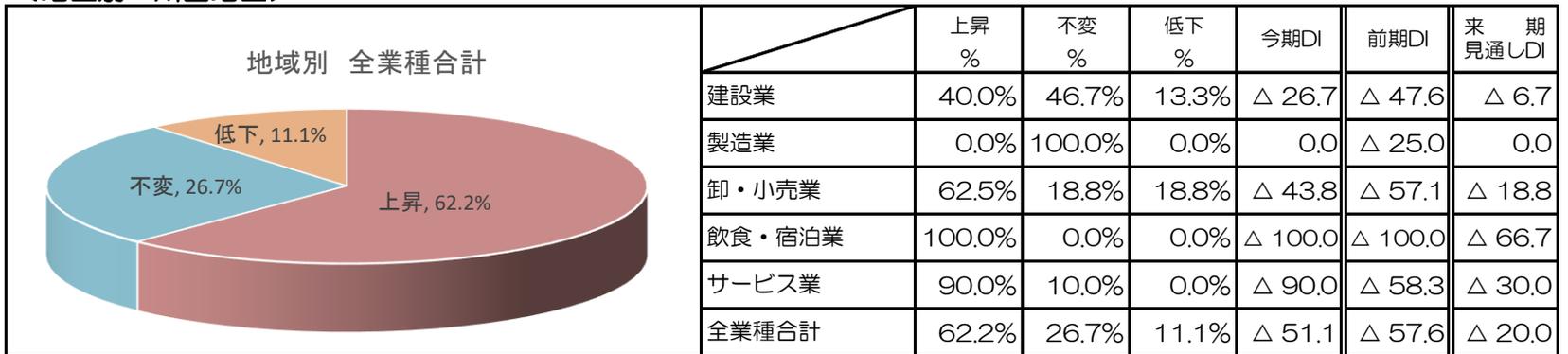
#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)



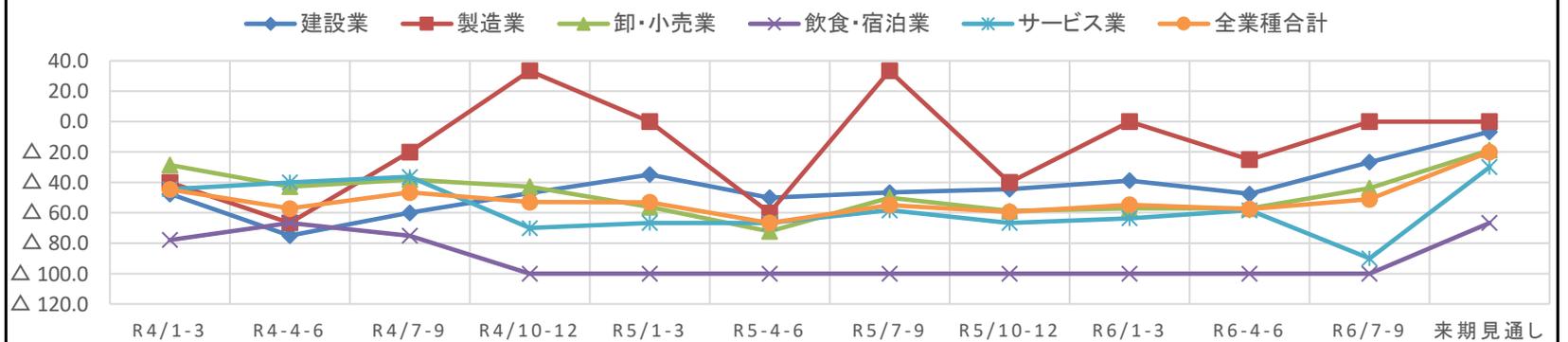
#### <コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価の状況は、全業種DI値で△71.7ポイントで、前回調査時よりも0.8ポイントの仕入単価低下が見受けられる。卸・小売業ではDI値が上昇しているが、その他の業種では低下している。来期の見通しについては、全業種で仕入単価が低下する予測だが、次回の調査を注視したい。

#### <地区別：川西地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)



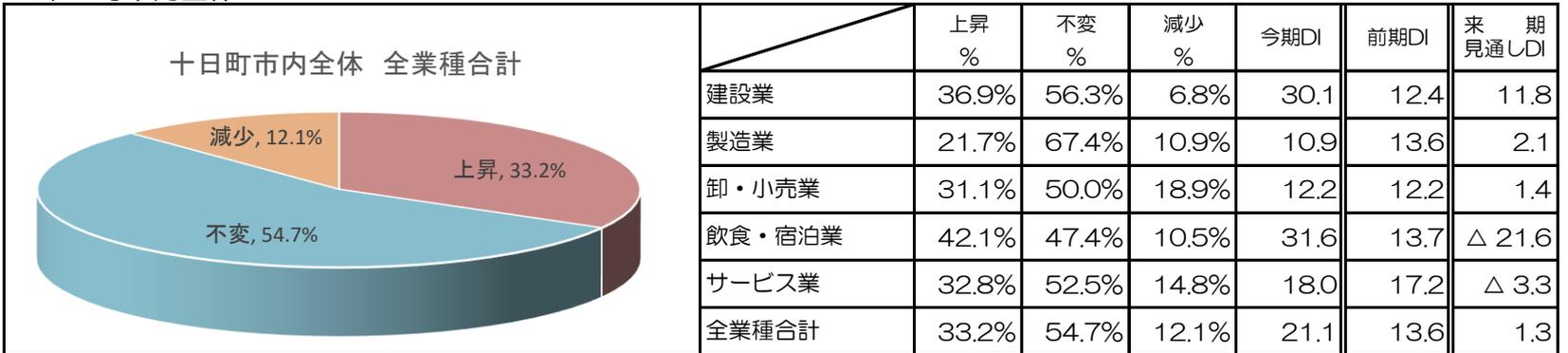
#### <コメント>

川西地区の今期の仕入単価の状況は、全業種DI値で△51.1ポイントで、前回調査より6.5ポイントの仕入単価低下が見られた。特に、建設業と製造業での仕入単価の低下が大きい。飲食・宿泊業における仕入単価は前回調査時と比べ横這いである。来期見通しでは、全ての業種で大幅な仕入単価低下の予測となっている。

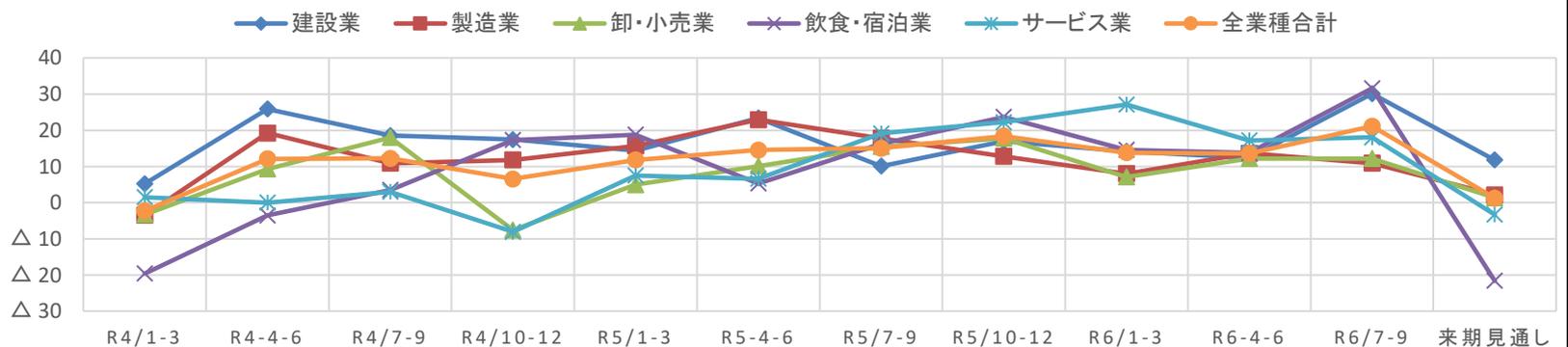
#### 4. 販売（客）単価について

・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <十日町市内全体>



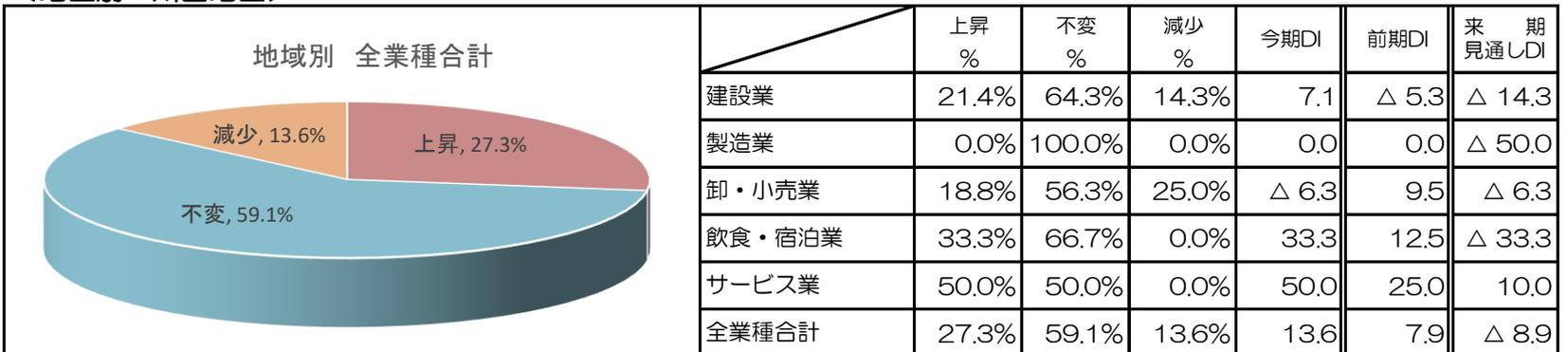
#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



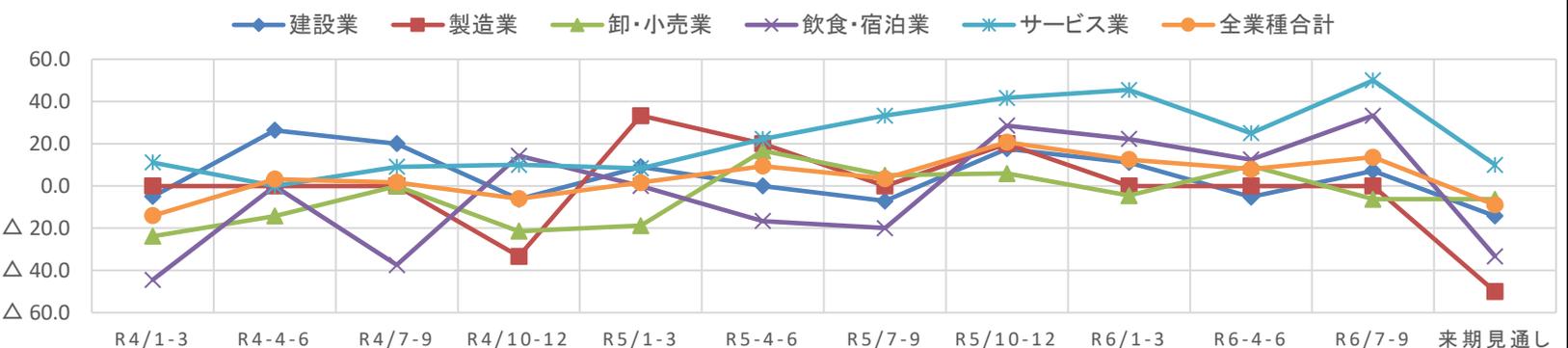
##### <コメント>

十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で21.1ポイント、前回調査時よりも7.5ポイント上昇している。特に、建設業と飲食・宿泊業での上昇幅が大きい。来期の見通しについては、全業種でDI値が低下の予測となっている。

##### <地区別：川西地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）

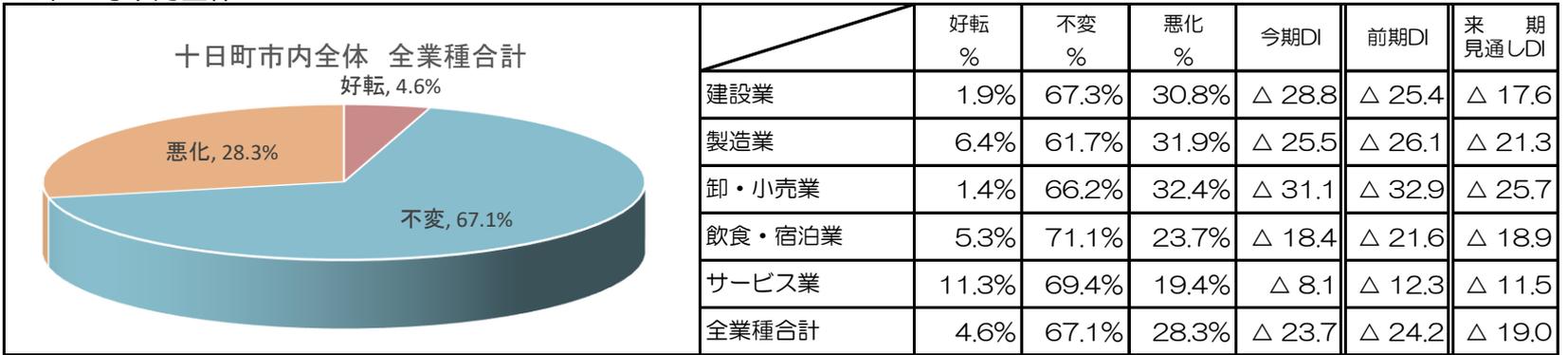


<コメント>川西地区全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で13.6ポイント、前回調査時よりも5.7ポイント上昇している。特に、飲食・宿泊業とサービス業での上昇幅が大きい。来期の見通しについては、全業種でDI値が低下の予測となっている。卸・小売業では横ばいの予測であるものの、その他の業種では大幅な低下予測となっている。

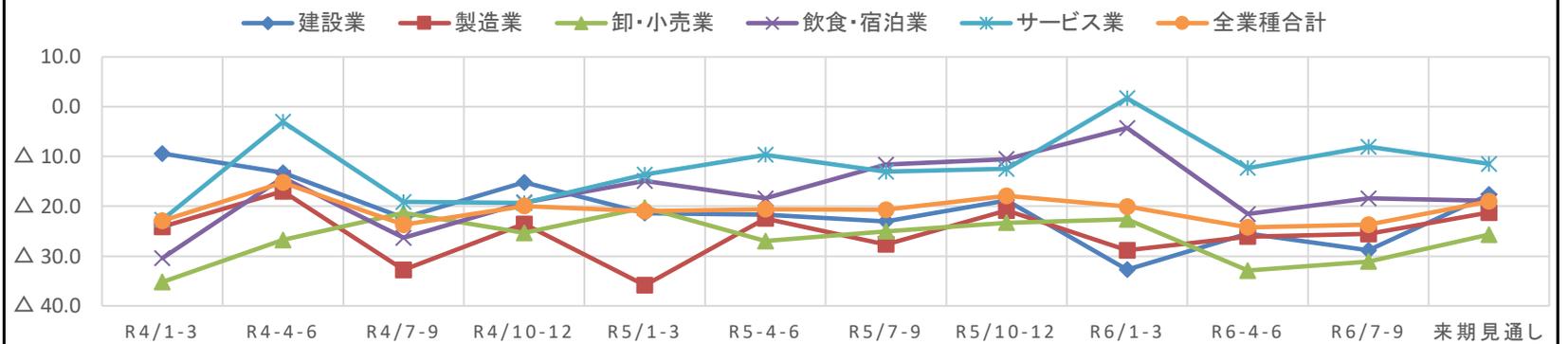
5. 資金繰りについて

・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



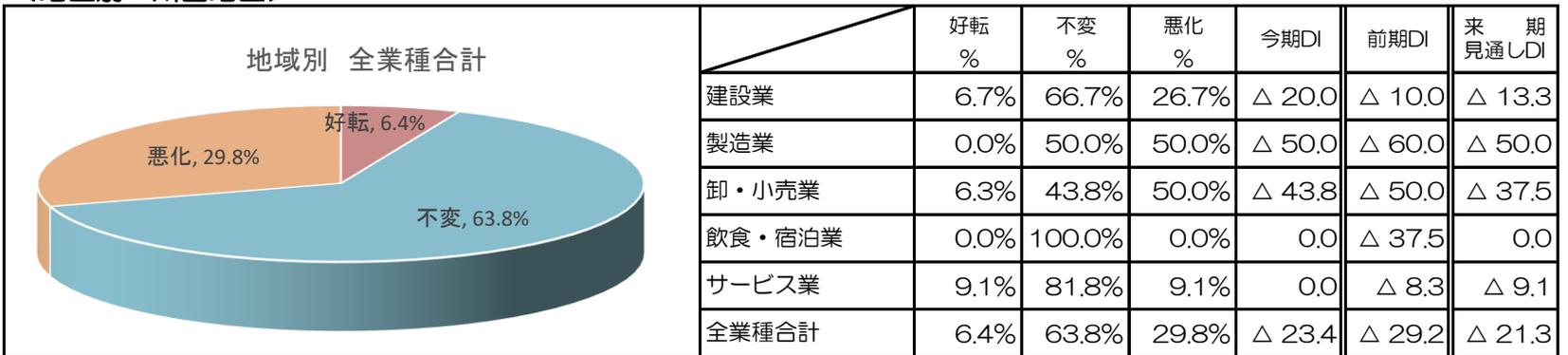
業種別資金繰りの推移(市内全体)



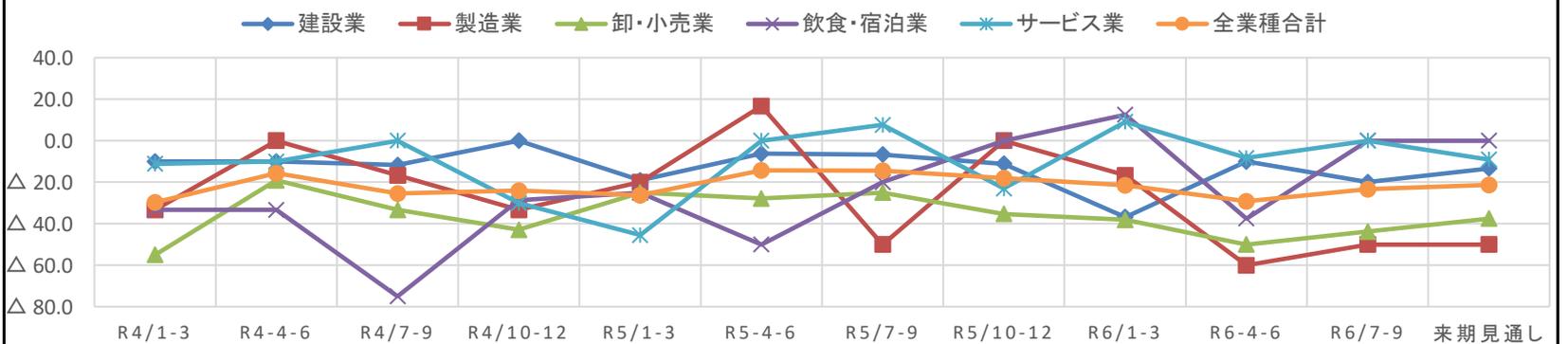
<コメント>

十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△23.7ポイントで、前回調査時よりも0.5ポイント好転した。飲食・宿泊業とサービス業での好転が目立つ。来期の見通しについては、建設業で大きく好転し、全業種DI値についても4.7ポイント好転する見込みである。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



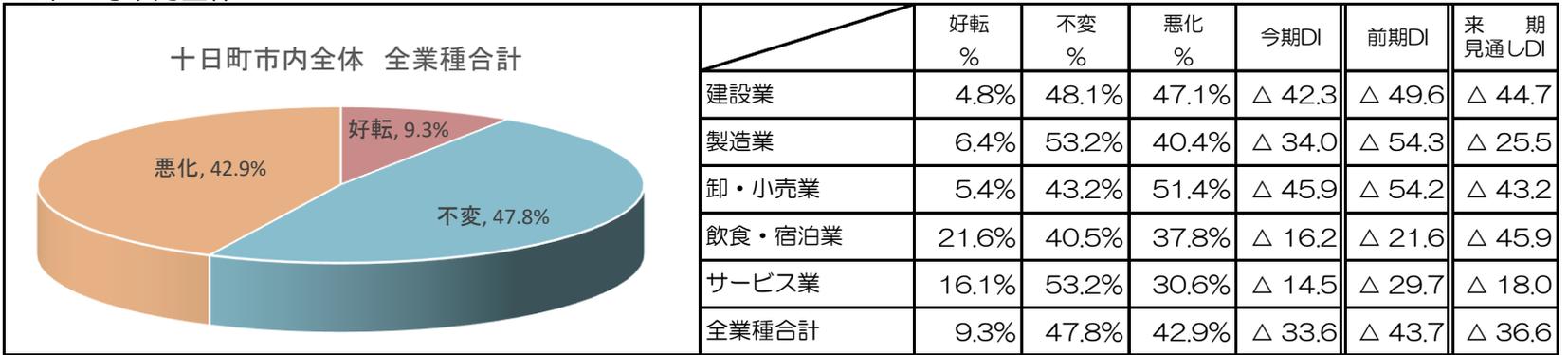
<コメント>

川西地区の資金繰り状況は、全業種DI値で△23.4ポイントで、前回調査時よりも5.8ポイント好転した。建設業のみDI値が悪化した。それ以外の業種では好転となった。来期の見通しについては、全体で2.1ポイントの好転となり、業種別では製造業、飲食・宿泊業で横這い、サービス業では悪化、建設業と卸・小売業では好転の見通しである。

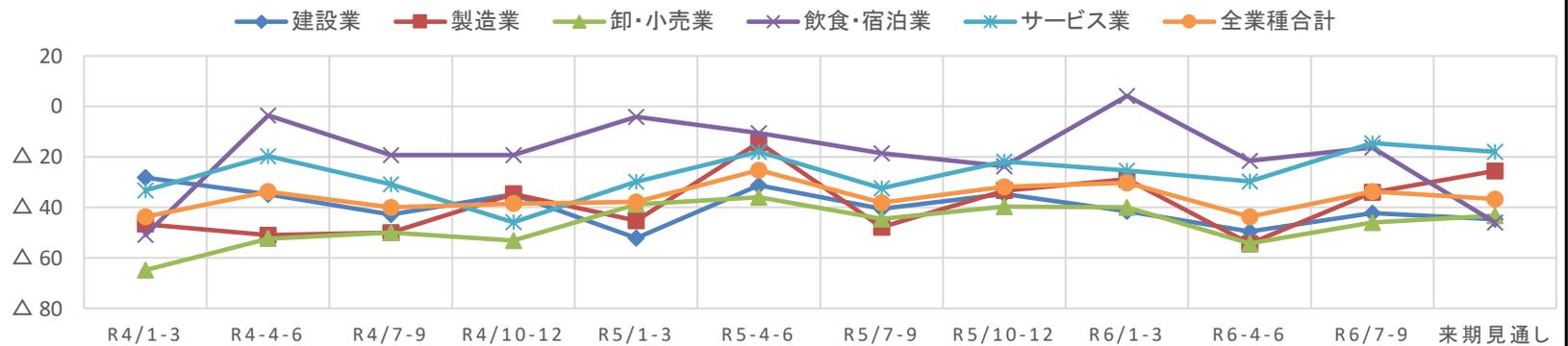
6. 景況判断について

・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



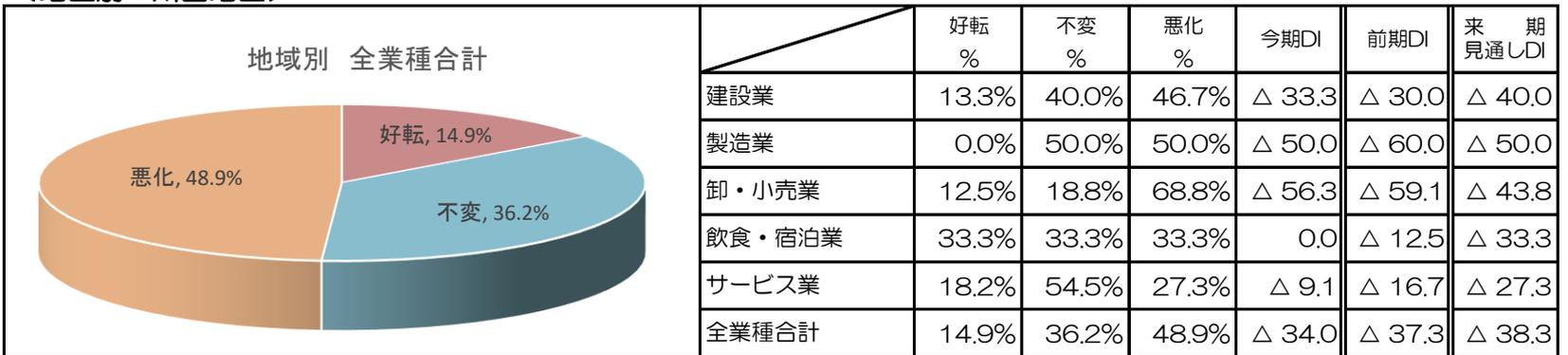
業種別景況判断の推移(市内全体)



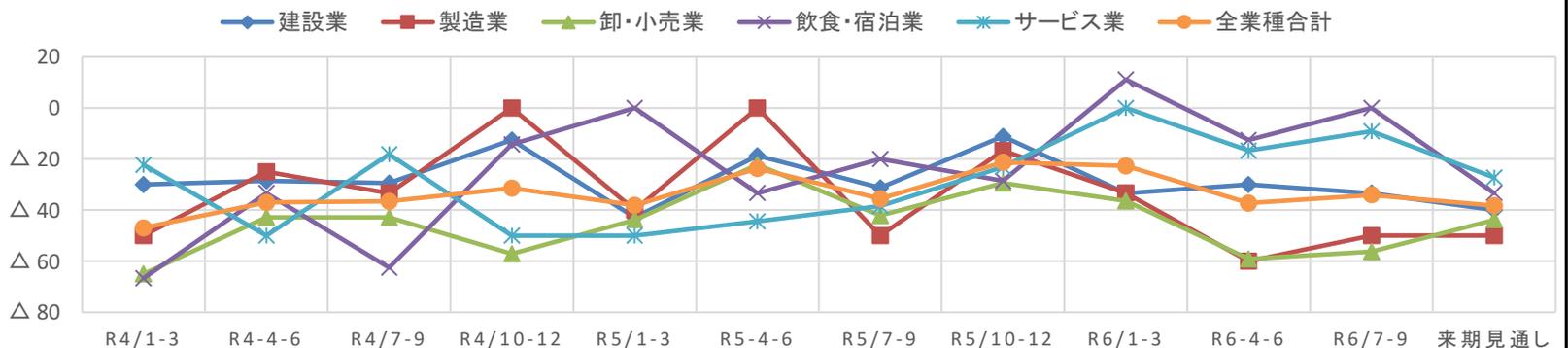
<コメント>

十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△33.6ポイントで、前回調査時よりも10.1ポイント好転している。全ての業種で好転している。また、来期見通しとしては全業種DI値で3ポイント好転する見通しである。業種別に見ると、建設業、飲食・宿泊業、サービス業では悪化する傾向にある。

<地区別：川西地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

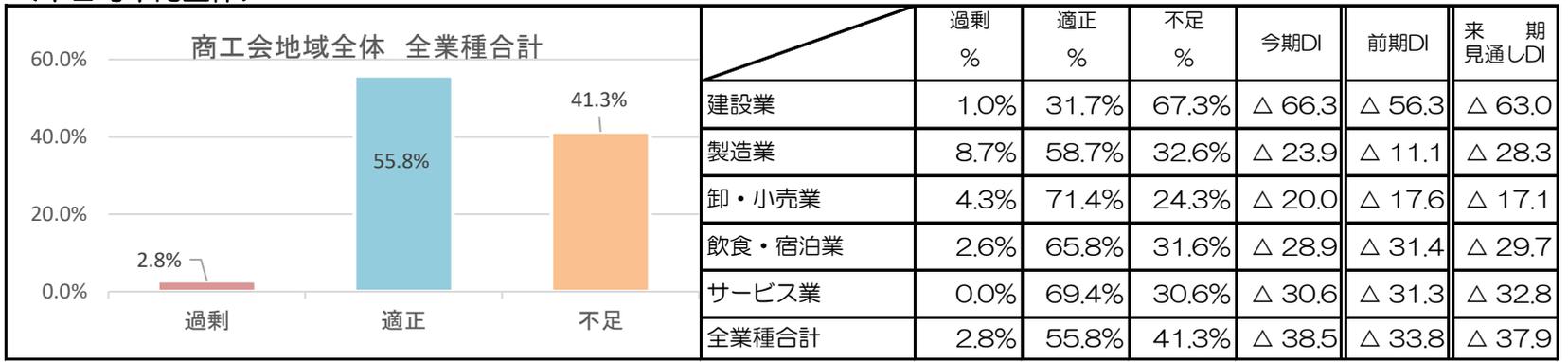


<コメント>川西地区の今期の景況判断は、全業種DI値で△34.0ポイントで、前回調査時よりも3.3ポイント好転している。建築業では悪化した。それ以外の業種では好転している。また、来期見通しとしては全体で4.3ポイント悪化する見通しである。業種別に見ると、製造業では横ばい、建設業、飲食・宿泊業、サービス業では悪化、卸・小売業では好転する見込みである。

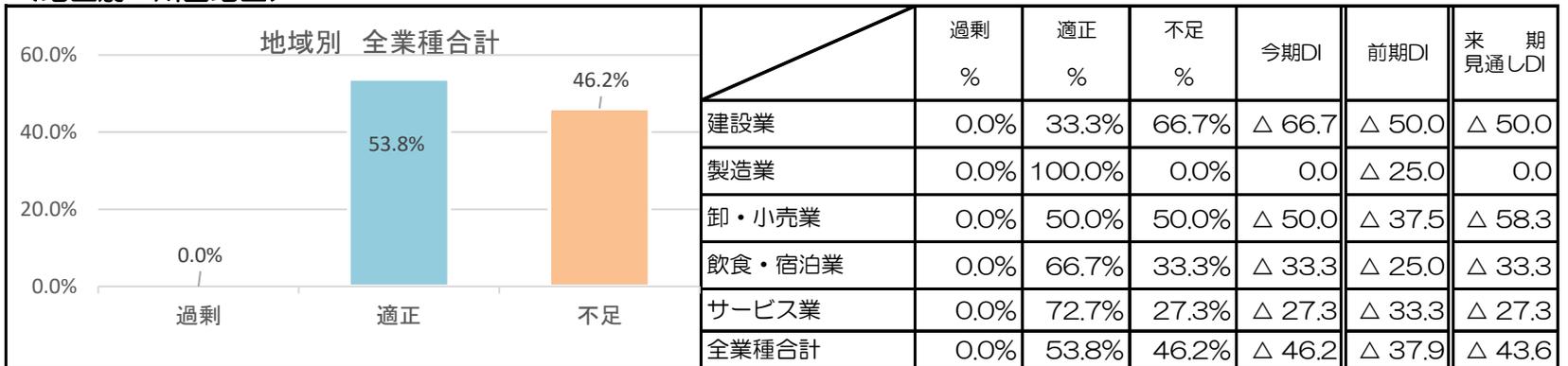
7. 従業員数について

- ・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：川西地区>

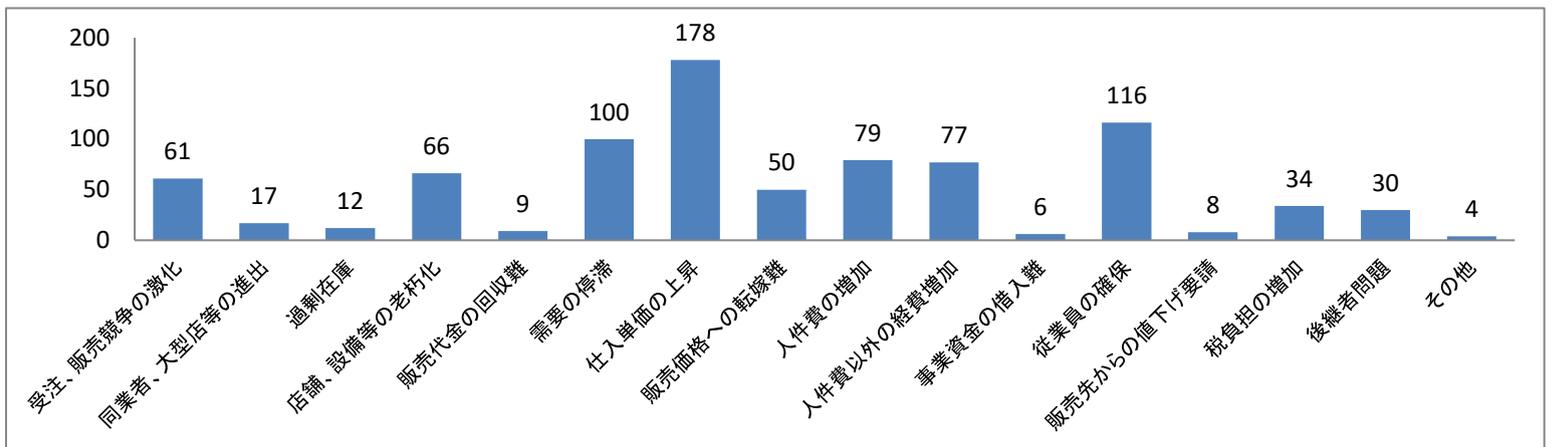


<コメント>

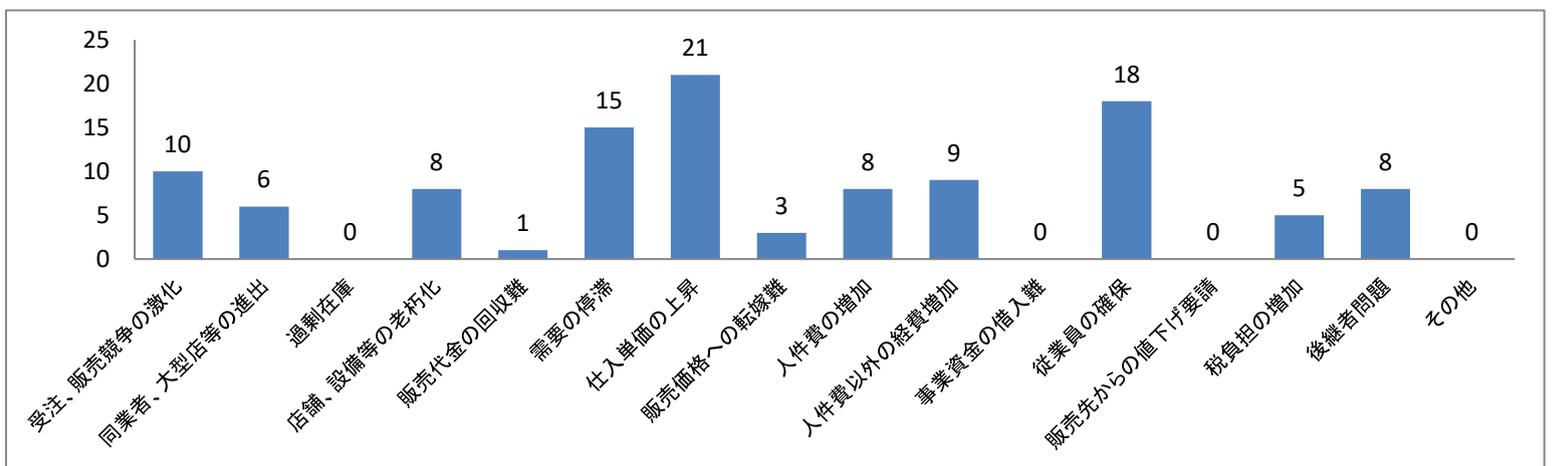
今期の従業員数（雇用動向）は、前回調査より過剰回答が0.1%減少、適正回答が4.6%減少、不足回答が4.6%増加であった。川西地区の状況は、前回調査時よりも過剰回答が変動なし、適正回答が8.3%減少、不足回答が8.3%増加であった。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：7月～9月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>十日町市内における経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「従業員の確保」、3位「需要の停滞」であった。前回調査と順位、項目ともに同じであった。仕入単価の上昇を問題点に挙げる事業者が圧倒的に多い。川西地域の経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「従業員の確保」、3位「需要の停滞」と、十日町市内と同様の結果となっており、前回調査と比較すると順位の変動はあるものの、項目は不変であった。

## 9. 地区の景況概要

・ 7月～9月時点での全体概況は

**【建設業】**建設業では、売上、採算、資金繰りにおいて前回よりも悪化しているという結果となった。また、経営上の問題点については、回答事業者の半数以上が「従業員の確保」を挙げている。そのほか、「仕入単価の上昇」、「需要の停滞」も上位にあがっている。来期の見通しでは、仕入単価の低下や資金繰りについて好転予測となっているが、採算、客単価、景況判断については減少予測となっている。

**【製造業】**製造業においては、採算、資金繰り、客単価の項目で前期と同水準もしくは好転が見られた。また、従業員数については適正回答となった。来期の見通しにおいて、客単価の大幅な減少が予測されており、売上にも影響が及ぶ可能性がある。経営上の問題点として、「需要の停滞」や「店舗・設備の老朽化」が多く回答されている。

**【卸・小売業】**卸・小売業では、多くの項目で回復が見られたが、客単価については前回調査よりも低下した。経営上の問題点では、「仕入単価の上昇」、「需要の停滞」を挙げる事業者が半数以上いた。従業員数については不足回答の増加が見られた。来期の見通しについては、売上の大幅減少が予測されることから、資金繰りにも影響が及ぶ可能性がある。

**【飲食・宿泊業】**飲食・宿泊業では、売上と資金繰りで回復は見られたものの、採算については前回調査時よりも悪化しているという結果となった。また、従業員数に関しても不足回答の増加が見られた。来期見通しについては、売上の減少予測は出ているが、今期で売上増加があったことから、採算については大きな変動はないと予測している。従業員数に関しては、今期と変動がない予測である。経営上の問題点には、「仕入単価の上昇」、「人件費以外の経費の増加」が上位にあげられた。

**【サービス業】**サービス業では、売上増加はあったものの、仕入単価の上昇や、採算が悪化したという結果が見られた。来期見通しについては、売上の減少予測が示されている。一方で仕入単価の低下予測も見られることから、採算についても増加予測となっている。経営上の問題点では、「仕入単価の上昇」、「従業員の確保」が上位を占めている。